

看護の日 について

毎年5月12日は看護の日です。そして5月12日を含む1週間を看護週間としています。なぜ5月12日が看護の日かというと偉大なる看護師ナイチンゲールの誕生日がこの日だからなのです。

それでは本日は偉大なる看護師ナイチンゲールの歴史について。



ナイチンゲールの出生について

ナイチンゲールは1820年5月12日に、裕福なイギリス

人夫婦の次女として生まれました。

ナイチンゲールはお金持ちはお嬢様らしく、大切に育てられました。彼女はきわめて頭がよく、語学、哲学、数学、芸術…

…ナイチンゲールは当時の少女としては異例なほど贅沢に学問と触れ合いました。

看護の道へのきっかけ

そんなナイチンゲールが看護の道を志したきっかけは「神の声」だったといいます。1837年2月7日とその日付まで残っているそうですが、この日、彼女は世の中に奉仕しなさいという神の声を聞きます。それから後、満ち足りた暮らしを送りつつも、ナイチンゲールは神の声の意味を探します。そして20代の半ば頃、ついに発見したのが、病人の看護という道でした。しかし、当時における看護婦とは、お世辞にもよい仕事とは言えないものでした。現代のような系統化された専門職の姿とは程遠く、ただ単に病人の身の回りの世話をする程度のもの。扱い手は貧しい女性たちで、酒浸りで素行の良くない人々も相当多かったといいます。そもそも当時の病院からして、現代のそれとは内容が違います。大抵が貧しい病人をようやく収容するための最低限の慈善的施設に過ぎず、環境も劣悪でした。

それだけに、ナイチンゲールの看護婦志望は、家族に猛反対されてしまいます。しかしナイチンゲールの決意は搖るかず、看護婦になるその時のために独りで勉強をし、準備を

進めます。そして30歳を過ぎた頃、彼女は家族の反対を振り切って看護婦の訓練所に入ります。とうとう具体的な看護実務を学んだナイチンゲールは、間もなくロンドンの婦人向け病院の運営責任者となります。そこにおいてナイチンゲールは、看護を行うのみならず、施設のさまざまな問題点を見つけて改善し、病院運営の効率化・健全化まで成し遂げることとなるのです。

この活躍は時の戦時大臣の目に留まりました。その縁もあって彼女に手紙を出します。その内容は「クリミア戦争に看護婦として赴いて欲しい」というものでした。

ナイチンゲールが行った看護の実際

クリミア戦争というのは、英仏トルコなどとロシアなどが戦った大きな国際戦争です。開戦は1854年ですが、後方に設けられた野戦病院の無惨な環境がその年のうちに早くも報じられ、大臣は、その状況をナイチンゲールに救ってもらいたいといいます。

こうしてナイチンゲールは看護婦を組織し、戦地の病院へと向かいます。

いわゆる看護婦ナイチンゲールとしての伝説的な活動は、この期間になされたものです。ナイチンゲールの着任時、病院の状態は報じられていた通りに酷いものでした。病院の建物は広いばかりでボロボロ、その床に無数の傷ついた兵士が転がされているというありさまで、衛生状態は最悪で物資もきわめて不足していました。

ナイチンゲールはこの状況に全力で立ち向かいました。傷病兵の看護を献身的に行い、広大な病院内を毎晩見回りました。酷い衛生状態の改善にも動き、英本国からそのための命令を引き出しました。この「衛生状態の改善」は特に大きな成果が上がり、傷病兵の死亡率は劇的に減少しています。

このようなナイチンゲールの活躍は、英本国でも大きく報道されました。ナイチンゲールは英雄のように称えられる存在となりますがその後、戦場での仕事の中で病気にかかってしまったこともあります。ほとんど社会の表舞台に姿を見せなくなってしまいます。

近代看護の礎を作ったナイチンゲール

クリミア戦争からの帰国後、ナイチンゲールは現地で得た多くのデータ類をもとに、陸軍の衛生状態や食事、兵舎設備などについての統計をまとめ、分析を行いました。そして、それらをもとに、陸軍の衛生政策や組織の変革を提案し、実現していくのです。

ナイチンゲールは教育者としての活動も行いました。英国に「ナイチンゲール看護学校」という学校が作られ、この学校の設立により、それまでは芽吹き程度の段階だった近代看護教育が、いよいよ本格的な段階に入ったとされます。

ほかにもナイチンゲールはさまざまなことを行っています。例えば、病院建築に関する提案。部屋を広く確保し、天井は高く、窓はベッド一つにつき一つ設置する、というようなもので、この造りは、この後の病院へも実際に取り入れられています。

ナイチンゲールが亡くなったのは1910年8月13日のこと。90歳という長寿でした。

ナイチンゲールが、偉大な看護婦であったことは間違いません。かつて看護の仕事の大半は女性が担っていましたが、今では男性も就く職業になり、ナイチンゲールの時代とはずいぶん様変わりしました。日本での呼び名も「看護婦」「看護士」から「看護師」となっています。

看護の日のメインテーマは「看護の心をみんなの心に」です。

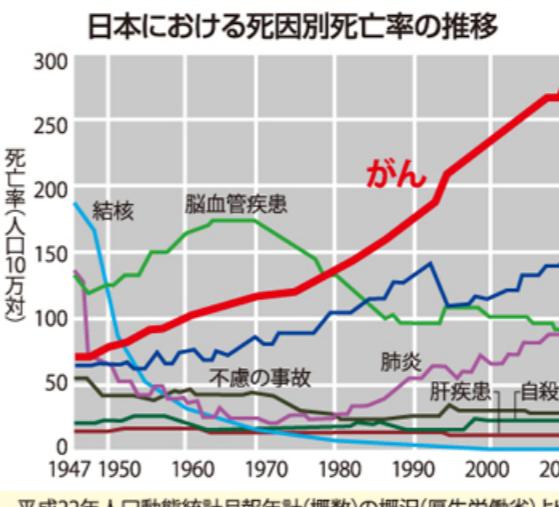
このテーマに沿った看護サービスの提供を、今後も病院スタッフ一同取り組んでいきたいと思います。



新しいアプローチでがんのリスクをチェック!

アミノインデックス[®] がんリスクスクリーニング(AICS)

がんによる死者数は年々増加しています!



平成22年人口動態統計月報年計(概数)の概況(厚生労働省)より

	男 性	女 性
1位	胃	乳房
2位	大腸(結腸・直腸)	大腸(結腸・直腸)
3位	肺	胃
4位	前立腺	子宮
5位	肝臓・胆管	肺
6位	食道	肝臓・胆管
7位	脾臓	甲状腺
8位	膀胱	卵巣
9位	腎臓・尿路	脾臓

出典:国立がん研究センターがん対策情報センター

定期的ながん検診による早期発見が重要です。

近年、がんの診断技術や治療法は急速に進歩しています。

早期にがんをみつけ、適切な治療を行うことにより、がんによる死亡のリスクを減らすことができます。

Q AICS(エーアイシーエス)ってなんですか?

A 血液中のアミノ酸を測定して、がんのリスク(可能性)を評価する検査です。
※がんの人は、一定に保たれる血液中のアミノ酸濃度のバランスが変化することがわかっています。

Q がんであるリスクとはどのようなことですか?

A リスクとは、現在がんである確率のことで、がんか否かをはっきりと判断するものではありません。

Q どのようながんのリスクがわかるの?

A 現在は、胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん(男性のみ)、乳がん・子宮がん・卵巣がん(女性のみ)を対象としたリスクについて評価することができます。



Q 検査はどのように行われるの?

A 血液を少量採血するだけです。

詳しくは当院の医師にご相談ください。